

明石工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	建築計画 I	
科目基礎情報							
科目番号	0016			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築学科			対象学年	3		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	岡田光正他『新訂 建築計画1』鹿島出版会参考:『コンパクト建築設計資料集成』丸善						
担当教員	水島 あかね						
到達目標							
1) 2) 3)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育目標 (D)							
教育方法等							
概要	気候、風土、歴史、文化など、建築がその土地が持つ様々な要素から形作られてきたことを知り、建築に対する多角的なものの見方や建物を計画する上で必要な基礎知識を身につけることを目標とする。						
授業の進め方・方法							
注意点	普段から身の回りの環境に関心を持ち、人の行為と空間との関係などを良く観察するようにすること。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		本授業の進め方や評価方法、目標を理解し、人に説明することができる		
		2週	空間の形態（１）：地理的環境と形態		気候や風土、歴史や文化などから形作られてきた建築の特徴について説明することができる		
		3週	空間の形態（２）：構造・機能と形態		構造や機能から形作られてきた建築の特徴について説明することができる		
		4週	空間の形態（３）：建築技術と形態		技術の進化に伴い大量生産により生み出された建築の特徴について説明することができる		
		5週	寸法と規模の計画（１）：人体寸法・動作寸法		自分自身の体の寸法を把握し、その寸法を使って身近なものの寸法を測ることができる		
		6週	寸法と規模の計画（２）：身の回りの寸法		身近な空間を実測し図面化することができる		
		7週	寸法と規模の計画（３）：パーソナルスペース		パーソナルスペースについて説明することができる		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	単位空間の寸法：寸法のシステム				
		10週	空間の性能（１）：利便性・快適性・安全性				
		11週	空間の性能（２）：耐久性・経済性				
		12週	空間の性能（３）：持続可能性と省エネルギー				
		13週	住宅の見学（１）		和館と洋館の違い、数寄屋の特徴、コロニアル様式の特徴について説明することができる		
		14週	住宅の見学（２）		和館と洋館の違い、数寄屋の特徴、コロニアル様式の特徴について説明することができる		
		15週	建物の保存と活用				
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表・授業態度	レポート	その他			合計
総合評価割合	60	10	30	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	0	0	0	0	0	60
分野横断的能力	0	10	30	0	0	0	40